

報道関係各位

2014年2月13日
株式会社ネクソン

2013年度第4四半期及び通期 連結業績のお知らせ

株式会社ネクソン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：崔 承祐／チェ・スンウ、東証：3659、以下「当社」）は、本日2013年度第4四半期（2013年10月1日～12月31日）及び通期連結業績を発表致しました。

第4四半期の売上収益は前年同期比12%、通期の売上収益は同43%、それぞれ増加となりました。第4四半期営業利益は主に連結子会社エヌドアーズ・コーポレーションに係る減損損失の計上により前年同期比96%減となりました。

当社代表取締役社長である崔 承祐は、当決算発表について次のような見解を述べております。「2013年度は様々な目標を達成した1年となりました。中国では、当社の主力ゲームタイトルである『アラド戦記』が上位ゲームタイトルとしての地位を維持し、引き続き好調な業績となりました。韓国でも新規及び既存ゲームタイトルが好成長しましたが、日本及び欧米では当社予想を下回る結果となりました。しかし、世界レベルの開発者が率いるゲーム開発会社に対して戦略的投資を行い、長期経営戦略に資する事業提携を推進しました。

また、本日発表したとおり、当社の経営体制を刷新致します。新経営陣によって、課題となる市場での事業がさらに強化されることを期待しております。」

2013年度第4四半期業績概要（IFRS）¹

（単位：百万円）

	2012年 第4四半期	2013年 第4四半期	前年 同期比
売上収益	¥30,882	¥34,467	12%
PC オンラインゲーム事業	23,813	27,750	17%
モバイルゲーム事業	7,070	6,717	△5%
営業利益 ²	8,793	327	△96%
四半期利益又は損失 ³	552	△4,437	
1株当たり四半期利益又は 損失（円）	1.27	△10.10	

注記：

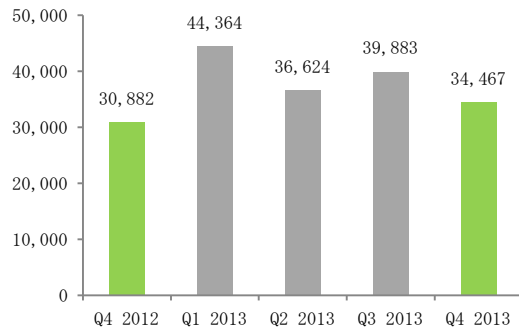
¹ 当社は、2013年第1四半期から国際財務報告基準（IFRS）を適用しています。

² 営業利益には、主に連結子会社エヌドアーズ・コーポレーションに係る減損損失約95億円の計上が含まれています。

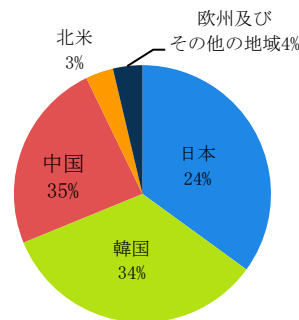
³ 親会社の所有者に帰属する四半期利益又は損失。持分法適用会社シックスウェイブス・インクに係る約25億円の減損損失を計上しております。なお、持分法適用会社に係る減損損失について、当社のIFRSの適用においては金融費用に含めて計上しております。

売上推移

(単位：百万円)



地域別売上構成



売上収益構成 (IFRS)

(単位：百万円)

地域別 ¹	2012年 第4四半期	2013年 第4四半期 (会計基準 ベース)	2013年 第4四半期 (一定為替 レート) ³	前年同期比変化率	
				会計基準 ベース	一定為替 レート ³
中国	¥11,074	¥12,065	¥9,047	9%	△18%
韓国	7,057	11,654	8,728	65%	24%
日本	10,037	8,274	8,274	△18%	△18%
北米	1,117	1,201	949	8%	△15%
欧州及びその他の地域 ²	1,596	1,273	959	△20%	△40%
売上収益合計	30,882	34,467	27,956	12%	△9%

注記：

¹ 売上収益が発生したユーザーの所在地別に内訳を記載したものであり、当社グループ各社の所在地別売上収益を記載したものではありません。

² その他：その他アジア諸国及び南米諸国。

³ 為替レートは、2012 年第4四半期の平均為替レートを適用しております。

2013 年度第4四半期 地域別業績ハイライト

中国

売上収益は前年同期比 9 % 増（為替レートを一定とした場合は同 18 % 減）となり、当社見通しの範囲内。『アラド戦記』の売上収益は、為替レートを一定とした場合、前年同期比で 1 桁減となり、当社の想定範囲内の業績。

韓国

売上収益は前年同期比 65 % 増（為替レートを一定とした場合は同 24 % 増）。『FIFA オンライン 3』が引き続き成長し、『アラド戦記』、『サドンアタック』、『マビノギ』も 2 桁成長。当四半期では、5 つのモバイルゲームを配信し、うち 2 タイトルは 30 日間の売上が 10 億韓国ウォンを超過。

日本

売上収益はモバイルゲーム及びPC オンラインゲームの売上減少により、前年同期比 18% 減。連結子会社である株式会社 gloops が『スカイロック』、『Wake Up, Girls! ステージの天使』の配信を開始。

北米、欧州及びその他地域

北米における売上収益は前年同期比 8 % 増（為替レートを一定とした場合は同 15% 減）。欧州及びその他地域の売上収益は前年同期比 20% 減（為替レートを一定とした場合は同 40% 減）。

2013 年度 通期業績ハイライト

- 売上収益は 1,553 億円となり、前年度比 43% 増。
- 営業利益は 507 億円となり、前年度比 7 % 増。営業利益率は 33% となり、前年の 44% から減少。
- 当期利益（親会社の所有者帰属）は 301 億円となり、前年度比 7 % 増。
- 1 株当たり当期利益は 68.83 円となり、2012 年の 65.37 円より増。

役員人事異動

本日、取締役会決議によって、現取締役 CFO 兼管理本部長であるオーウェン・マホニーが次期代表取締役として内定致しました。当役員人事は、2014 年 3 月 25 日の株主総会後に開催される取締役会の決議を経て、正式に決定致します。現代表取締役社長である崔 承祐は、退任後、当社名誉会長となります。

また、現経理財務部長である植村 士朗が最高財務責任者（CFO）に、現法務部長である阿部 康二が管理本部長に就任する予定です。

2014 年度第 1 四半期業績予想

連結業績予想（IFRS）

（単位：百万円）

	2013年 第 1 四半期	2014年 第 1 四半期		
売上収益	¥44,364	¥42,030	～	¥45,661
PC オンラインゲーム事業	36,877	35,672	～	38,658
モバイルゲーム事業	7,487	6,358	～	7,003
営業利益	20,716	15,619	～	18,704
四半期利益 ¹	15,150	12,128	～	14,480
1 株当たり四半期利益（円）	34.77	27.60	～	32.96

注記：

¹ 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

なお、1 米ドル当たり 100.46 円及び 100 韓国ウォン当たり 9.48 円という想定為替レートのもとに、円安による当社への好影響を想定しております。

決算説明会及び決算発表に関する電話会議

2013 年度決算説明会及び電話会議の開催について、下記のとおりお知らせ致します。

1. 決算説明会（日本語）

2014 年 2 月 13 日（木）午後 4 時 30 分

本説明会は、機関投資家・アナリスト及びメディア向けとなっております。

決算説明会の模様は、後日当社 I R サイトにて動画アーカイブとして公開致します。

2. 決算電話会議（英語）

2014 年 2 月 13 日（木）午後 10 時 00 分 決算電話会議の接続情報は、下記の通りです。

当社 I R サイトにも掲載しておりますのでご確認ください。

<接続情報>

電話番号： 1-412-902-6602(米国)

<リプレイ情報>

電話番号： 1-412-317-0088(米国)

パスコード： 10038374 #

※会議終了 60 分後からご利用いただけます。

決算短信及び決算説明資料は、当社 I R サイト (<http://ir.nexon.co.jp>) に掲載しておりますのでご確認ください。

本資料は、投資家の方々に当グループに関する参照情報をご提供することを目的としており、当社の株式その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

■株式会社ネクソン <http://company.nexon.co.jp/>

ネクソンは、韓国ソウルに設立され、2005 年に日本へ本社を移転、2011 年 12 月に東京証券取引所第一部に上場致しました。創業以来、良質なオンラインゲーム、モバイルゲーム及びソーシャルゲームを制作・開発、配信して参りました。代表的なゲームタイトルである『メイプルストーリー』、『アラド戦記』、『カウンターストライクオンライン』、『マビノギ』及び『サドンアタック』といったネクソンが提供する豊富なゲームタイトルは、より幅広いジャンル、多様なユーザー層及び世界中の潜在的ユーザーへ訴求しております。現在では、約 60 に上るゲームタイトルを配信し、アジア・北米・南米・欧州を初めとする 100 を超える国と地域にてサービスを展開しております。

■本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社ネクソン 経営企画部 企業広報チーム

メルチャー 早川 大井 更岡

TEL: 03-3523-7919 FAX: 03-3523-7958 Email: press@nexon.co.jp